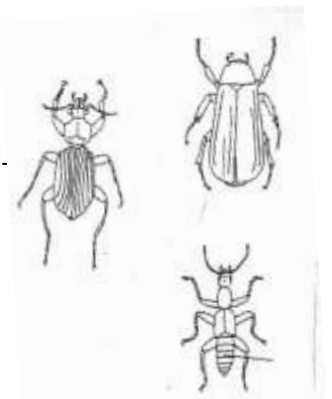


花ちゃん・オー君・モンタ博士のわくわくドキドキ国立てくてく

国立第七小学校 平成25年7月2日 NO.27

- 花ちゃん 「きのうの全校朝会は、いろいろな虫や生き物のお話でしたね。」
- オー君 「そうだね。虫だけでも、コオロギ、アメンボ、セミ、バッタ、ホタル、アリ、ハエ、ハチ、カメムシ、スズムシ、カイコガ、クワガタ、カブトムシ、アブ、カ、モンシロチョウなどなど。」
- 花ちゃん 「昆虫って、たくさんの種類がいるんですよね。」
- モンタ博士 「地球上の生き物の75%は昆虫といわれているからね。人間が地球で一番えらそうな顔をしているけど、本当は『地球は虫の星』なんだね。」
- オー君 「昆虫ってたくさんいるけど、大切なことは、どんななかまなのかがわかることだと校長先生はいていたよ。」
- モンタ博士 「そうだね。これからの季節（きせつ）たくさんの昆虫をつかまえて、自分でいろいろと調べてみようね。昆虫採集は科学のはじめの一步だよ。」
- 花ちゃん 「あれあれ？むこうからだれかが来るみたいですよ。」
- オー君 「いろいろな虫たちのパレードみたいです。」
- カブトムシ 「えっへん。おれたちは、甲虫（こうちゅう）のなかまだ。」
- クワガタ 「足にはするどいつめがあるんだぜ。」
- ホタル 「全体が箱（はこ）のようになるとくちょうもあるさ。」
- オサムシ 「わたしたちは、昆虫の中でも一番しゅるいが多いのよ。」
- ハネカクシ 「つまり、われわれは、昆虫の王様というわけさ。」
- アゲハチョウ 「ちょっとまって、美しさでは、チョウのなかまが一番。」
- クロアゲハ 「そのとおりでござんす。体ぜんたいがりんぷんといুকををつけているのもとくちょうでやんす。」
- カイコガ 「わたしたちは、植物の葉っぱをたべて大きくなるのよ。」
- スズメガ 「ガはね、チョウの20倍くらいの種類がいるんだ。すごいだろう。ガだってきれいなやついるぜ。」



甲虫のなかま



チョウのなかま

ハチ 「ちょっと、まって！昆虫のグループで甲虫のつぎに大きなグループはハチなんだぞ。」

アリ 「おれも、ハチのなかまなんだ。わすれないで。」

ハナバチ 「しょっかくが長くて、とうめいなまくのようなハネを4まいもっているのがとくちょうよ。」

ハエ 「ねえハチくん。ハネを4まい持っているからって、そんなにいばらないで。わたしたちは2まいしかもってないけど、ホバリングができるよ。」

アブ 「それに春一番に動き出すことができるんだ。ちょっとさむくてもへいきなんだ。」

カ 「わたしもハエのなかまなの。血をすってわるいけど、これも子どもを育てるためなのよ。がまんして！」

カメムシ 「ぼくたちは、ハネの半分がかたくて、もう半分はやわらかいとくちょうがあるんだ。」

セミ 「おいらたちのなかまは、みんなハリののような口をしていてね、それで植物のしるや動物の体液（たいえき）をすって生きているんだ。」

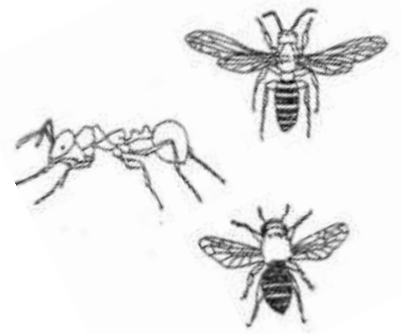
アメンボ 「わたしもカメムシのなかま。わたしをつかまえてにおいをかいでみて！あめのようにあまいのよ。」

スズムシ 「ねえねえ、みなさん。虫といたら『虫の音【ね】』というでしょ。やはり、ぼくたちが一番さ。」

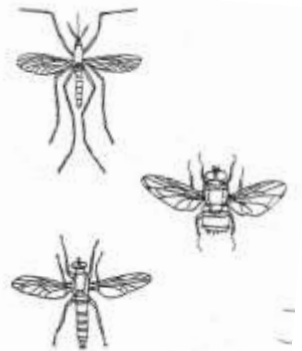
コオロギ 「そうだ。そうだ。おれたちはうしろ足が長くてジャンプがとくいなんだ。」

バッタ 「幼虫は、成虫のハネをとったような形も、わたしたちのとくちょうですね。」

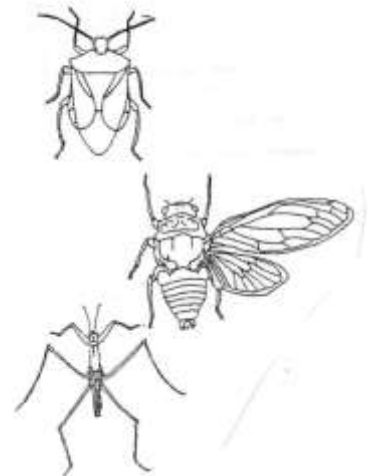
モンタ博士 「今日しょうかいできなかったけど、トンボやナナフシやカマキリ、ゴキブリのなかまもいるんだよ。」



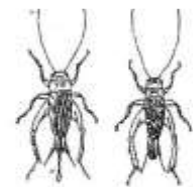
ハチのなかま



ハエのなかま



カメムシのなかま



バッタのなかま